

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 1,061 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町小奴可 2658 番地 3

(3) 辺地度点数

167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 km に位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m 以上に集落が点在する山間の農村地域である。

地域内を通過する国道 314 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、早急な道路網の改良・整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 4 年度までの 2 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道塩原西側線)	庄原市	24,000	—	24,000	24,000
合	計	24,000	—	24,000	24,000

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 八幡辺地
(辺地の人口 710 人、面積 45.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町保田、川鳥、森、田黒、菅

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町森 2354 番地 2

(3) 辺地度点数

164 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東へ約 49 k m に位置し、標高 1,009m の飯山山麓に広がる平坦地に乏しい農村地帯であり、過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著となっている。

道路網については、国道 314 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、接続する市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施 設 名	区 分 事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道川鳥陰地線)	庄原市	25,600	12,500	13,100	13,100
市道・橋りょう (市道川鳥陰地中央線)	庄原市	56,000	—	56,000	56,000
市道・橋りょう (市道八幡研修センター北線)	庄原市	4,000	—	4,000	4,000
市道・橋りょう (市道森市場線)	庄原市	60,000	—	60,000	60,000
合 計		145,600	12,500	133,100	133,100

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 帝釈辺地
(辺地の人口 387 人、面積 54.2 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町帝釈宇山、帝釈未渡、帝釈始終、帝釈山中

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町帝釈宇山半田 57 番地 1

(3) 辺地度点数

160 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東へ約 28km に位置し、石灰岩によるカルスト台地の上に集落が点在する農村地域であるが、過疎化とともに高齢化が著しく、地域活力の停滞が顕著となっている。

住民の多くは移動に自動車を利用しているが、市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

施 設 名	区 分 事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道鴨居線)	庄原市	105,600	12,500	93,100	93,100
合	計	105,600	12,500	93,100	93,100

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市高野町 下高辺地
(辺地の人口 465 人、面積 66.5 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市高野町奥門田、岡大内、下門田、上里原、高暮

(2) 辺地の中心の位置

庄原市高野町下門田 5059 番地 106

(3) 辺地度点数

117 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北西へ約 35km に位置し、西は島根県に接している。標高が高く、冬期は積雪が多い地域であるが、寒冷な気候を利用した農作物の生産が盛んである。

道路網は、幅員狭小で危険な箇所も多く、また冬期は積雪により通行困難な場合があり、通勤・通学・農作物の運搬など、地域住民の生活に支障をきたしていることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道下高宮内線[2工区])	庄原市	90,000	—	90,000	90,000
合	計	90,000	—	90,000	90,000

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市比和町 石ヶ原辺地
(辺地の人口 93 人、面積 27.5 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市比和町森脇

(2) 辺地の中心の位置

庄原市比和町森脇 1463 番地 1

(3) 辺地度点数

205 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北へ約 28 km に位置しており、北は島根県に接し、県道比婆山公園森脇線に沿って形成されている集落である。

住民の多くは移動に自動車を利用しているが、市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や観光バスの通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道吾妻山線)	庄原市	130,600	17,500	113,100	113,100
合	計	130,600	17,500	113,100	113,100

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市比和町 三河内辺地
(辺地の人口 195 人、面積 10.2 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市比和町三河内

(2) 辺地の中心の位置

庄原市比和町三河内 1418 番地 1

(3) 辺地度点数

257 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北へ約 21 k m に位置し、県道西城比和線に沿って形成されている集落である。耕地は少なく、山林面積が約 95% を占めている。

住民の多くは移動に自動車を利用しているが、市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や地域バスの通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道紋り中原線[2期])	庄原市	20,500	11,300	9,200	9,200
市道・橋りょう (市道五ノ木線)	庄原市	59,300	—	59,300	59,300
合	計	79,800	11,300	68,500	68,500

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市総領町 亀谷辺地
(辺地の人口 178 人、面積 8.6 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市総領町亀谷

(2) 辺地の中心の位置

庄原市総領町亀谷 1228 番地 1

(3) 辺地度点数

138 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から南東へ約 11 kmに位置し、国道 432 号線及び県道 414 号線沿いに集落が形成されている。

地域内を通過する国道 432 号線が住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道小坂本線)	庄原市	78,000	—	78,000	78,000
合	計	78,000	—	78,000	78,000

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市総領町 五領辺地
(辺地の人口 223 人、面積 23.8 k m²)

1 辺地の状況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市総領町五箇、上領家、中領家
- (2) 辺地の中心の位置
庄原市総領町中領家 717 番地 1
- (3) 辺地度点数
183 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から南東へ約 16 k m に位置し、平坦地が少なく、急峻な地形の中に数多くの小集落が点在する典型的な中山間地域である。

住民の多くは移動に自動車を利用しているが、市道の幅員が狭小であるため、一般車両の離合や緊急車両の通行に支障をきたしており、また冬期の積雪により通行が困難となる場合もあることから、地域住民の利便性・安全性を確保し、生活環境と産業基盤の向上を図るため、早急な道路網の改良・整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間

(単位：千円)

区 分		事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
施 設 名	事業主体		特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道上領家線)	庄原市	130,900	17,500	113,400	113,400
市道・橋りょう (市道六郎木線)	庄原市	101,000	—	101,000	101,000
合 計		231,900	17,500	214,400	214,400